

近藤 真琴

Kondo Makoto

国税専門官 2020年採用

長崎税務署 法人課税部門

高い専門性 感じる達成感



Question

1 現在の仕事内容について教えてください。

私は法人課税部門に所属しており、会社から提出された法人税や消費税の申告書の内容が適正かどうかを確認する調査事務を担当しています。

調査では、実際に会社に赴き、代表者や経理担当者から事業内容等を聴取した後、帳簿書類等を確認します。

調査をスムーズに行うために、税法や会計学等の専門的な知識だけでなく、業界特有の知識や地域の特色を念頭に入れた上で、会社の方と積極的に会話をすることを心掛けています。



Question

2 研修制度及び必要とされるスキルについて教えてください。

税法をはじめとした法律や簿記会計学の知識が必要になります

税務職員として仕事をするにあたり、税法をはじめとした法律や簿記会計学の知識が必要となります。

税務の職場は、研修制度がとても充実しており、採用直後に約3か月間の専門官基礎研修を受講します。この研修は、税務署で実務を行うために必要となる税法や簿記会計学等の基礎的な知識や税務職員としての心構えを身に付けることを目的として行われます。また、税務署に配属された直後には、1か月にわたって、所属する部署ごとに専攻する税法や実務講義を受講する専攻税法研修があり、より専門的な税法知識や技能を習得することができます。

現在従事している調査事務において、まだまだ分からないこともありますが、研修で学んだ知識や技能を活かして調査を進めることができます。

Question

3 国税専門官になって良かったと思うことはありますか。

国税専門官になって良かった点は、仕事でやりがいや達成感を感じることです。

調査では、調査の進め方を自分で考える力や専門的な知識だけでなく、納税者に対して説明する力を求められます。時には、知識や経験不足から問題点として相手方に指摘できるか否かの判断や説明の仕方に悩むこともありますが、調査が終了した際には達成感を感じることができます。

税務署は堅苦しい職場のイメージがありましたが、実際に働いてみると、活気があり、風通しの良い職場です。分からないことは上司や先輩に相談し、指導やアドバイスを受けることで日々成長することができます。



Message

税務の職場は、税法等の専門性が高い知識が必要となるため、難しいと思われる方がいると思いますが、充実した研修制度が整っており、多くの知識を習得することができます。

また、上司や先輩に相談しやすい職場環境のため、安心して仕事に取り組むことができます。

日々学ぶことが多く大変なこともありますが、やりがいと達成感を感じることができ、自分自身が成長できる職場です。

皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。